

委員会の審査状況

総務委員会 議案12件を審査

◆「平成27年度流山市一般会計補正予算(第5号)」の主な意見◆

①今回の補正予算は、決算の見地からのものが主です。個別ではマイナンバー制度による通知カード、個人番号カード関連事務では委任に係る交付金2822万3千円の追加は委任する業務システムに全額支払うということが確認できました。

また、廃棄物処理施設建設積立事業については、平成28年度にしっかりと計画を立てるよう要望します。

②この補正予算に対してマイナンバー制度や年金生活者等支援臨時福祉給付金に関する点など、異論も持っています。全体として見た場合、市民サービスの展開から必要とされている面、決算の見地からという面もあると考えます。

③今回は、国の一億総活躍社会を目指すための補正予算に伴う内容が主なものです。

編成内容を見ると、社会資本整備総合交付金や国庫補助金などが、増減された事業はさまざまですが、福祉部門などの事

都市建設委員会 議案12件を審査

◆「流山市空き家等の適正管理に関する条例の改正」の主な意見◆

①本案は、法令と整合性を図るほか、条文整理の内容であり賛成しますが、以下4点要望します。1点目は、リフォーム助成制度の創設。2点目は、空き家バンクや空き家地域貢献活用相談窓口などの開設。3点目は、老朽化家屋の解体・除去助成事業や、市の方針を受け入れて更地とした場合、一定期間、固定資産税の軽減措置などを図ること。4点目は、今社会的な問題になっているごみ屋敷に対する条例などの創設。

②給水人口が伸びる一方で、節水意識の定着により水道料金収入が伸びていない中、黒字予算で編成されています。また、経営戦略を策定し、今後

市民経済委員会 議案5件を審査

◆「平成27年度流山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)」の主な意見◆

①本案は、国民健康保険制度の安定的な運営を図るため、今年度から低所得者対策として保険者支援助度が拡充されたことおよび制度の拡充に伴うおよび制度の拡充に伴う療養給付等負担金の減額などにより、やむを得ず一般会計からの繰入金を増額するものです。

国民健康保険財政は依然厳しいものと認識し、医療費の適正化に向けた取り組みや収納率向上などにより事業運営の改善を一層推進することを要望し、賛成します。

教育福祉委員会 議案7件、 陳情1件を審査

◆「子どもたちの甲状腺エコー検査の費用の助成を求める陳情書」の主な意見◆

①東葛6市では、松戸市に続き柏市でも子ども甲状腺エコー検査費用の一部の助成が始まり、来年度からは我孫子市でも始まることから、ホットスポットとなった本市でも是非実施すべきです。

検査は一度受けたらそれで終わりではありません。「未来を支える子どもたちの健康を長期にわたって見守り続けるために、個人の負担が重くならないよう検査費用の助成をしてほしい」と切に願っている親の思いは至極当然であり、それを後押しするのが議会の役割です。

都市建設委員会 議案12件を審査

◆「平成28年度流山市水道事業会計予算」の主な意見◆

①給水人口が伸びる一方で、節水意識の定着により水道料金収入が伸びていない中、黒字予算で編成されています。また、経営戦略を策定し、今後

12年間の収支の均衡を図り、効率的な経営健全化に努めています。中長期にわたり持続可能な経営をするために具体的な取り組みを示しており、評価できます。今年度は、西平井浄水場配水池の更新や配水管の拡張事業などが実施されるのにもかかわらず、企業債の借入も低く抑えられていると判断します。

都市建設委員会 議案12件を審査

◆「平成28年度流山市国民健康保険特別会計予算」の主な意見◆

①国民健康保険料の実質値上げにもかかわらず、一般会計からの繰入金の前年度比約2億円増えた点は一定理解しますが、以下2点要望し、賛成します。

1点目は、国民健康保険加入者に料金改定による負担増を求めていることを十分に認識し、さらなる歳入の確保や歳出の削減に努めること。2点目は、平成30年度に国民健康保険制度の財政運営が県に移行することから、国、県の動向を注視し、市民が安心して医療を受けられる制度を構築すること。

都市建設委員会 議案12件を審査

◆「平成28年度流山市水道事業会計予算」の主な意見◆

①給水人口が伸びる一方で、節水意識の定着により水道料金収入が伸びていない中、黒字予算で編成されています。また、経営戦略を策定し、今後

12年間の収支の均衡を図り、効率的な経営健全化に努めています。中長期にわたり持続可能な経営をするために具体的な取り組みを示しており、評価できます。今年度は、西平井浄水場配水池の更新や配水管の拡張事業などが実施されるのにもかかわらず、企業債の借入も低く抑えられていると判断します。

都市建設委員会 議案12件を審査

◆「平成28年度流山市水道事業会計予算」の主な意見◆

①給水人口が伸びる一方で、節水意識の定着により水道料金収入が伸びていない中、黒字予算で編成されています。また、経営戦略を策定し、今後

12年間の収支の均衡を図り、効率的な経営健全化に努めています。中長期にわたり持続可能な経営をするために具体的な取り組みを示しており、評価できます。今年度は、西平井浄水場配水池の更新や配水管の拡張事業などが実施されるのにもかかわらず、企業債の借入も低く抑えられていると判断します。